



七夕の日に、社員の働く様子を、 ご家族に披露する「仕事参観」を行いました！

カヤック社員を支えてくださるご家族のみなさま、いつもありがとうございます。カヤックでは7月7日に、社員のご家族への感謝と御礼を込め「仕事参観」という社内イベントを催しました。これはご家族のみなさんに社員の働いているふだんの仕事風景を見てもらおうというイベントです。「社員と巡るオフィスツアーや「ブレスト見学会」、「サイコロ絵の体験会」などなど…。見て、食べて、話して、カヤックのことをたくさん知っていただきました。KAZOC 第5号では、そのレポートをメインにお伝えしたいと思います。

仕事参観レポート

7月7日に行われた「仕事参観日」の様子を、参加された方々の声とともにお伝えします！

オフィス見学ツアー

～社員はいつもどんな仕事をしているの？～



仕事参観に来られたご家族のみなさまに、学校などでよく行われる社会見学方式でオフィス内を見学していただきました。ソーシャルゲーム事業部、Lobi事業部、クライアントワーク事業部の順に巡回し、各事業部に所属をする社員から、ふだんの仕事内容をご紹介しました。実際に見学ツアーに参加されたお子さんからは、「パパの席に座ってみたい」とか、「ゲームしたい」などたくさんの方の無邪気な声をいただきました。そのほか奥さまやご家族、ご友人の方々からは、「私服で働いている人ばかりなんですね？」、「ダウンロードってなんですか？」など、私たちがふだん当たり前だと思っていたことも新鮮に映るようで、素朴な質問がたくさん飛び交っていました。

サイコロ給体験会

～サイコロでお給料が決まるってどんな感じ？～



カヤックの名物の一つでもある「サイコロ給」もこの機会に、ご家族のみなさまに体験していただきました。基本給×サイコロの出目(%)を支給するサイコロ給の7月分を、今回は社員のご家族が振るということで、さまざまなほっこり名場面が生まれました。たとえば、新入社員は3ヶ月間の試用期間を経て7月に正社員になったので、今回がはじめてのサイコロ給でしたが、それをご両親が振るという感動的な場面もあれば、生後間もない赤ちゃんが強烈な運びで「6」を出したり(未恐ろしい)、メガネをかけた双子ちゃんが奇跡の「2」を出したり、ご家族ごとに小さなドラマとミラクルが生まれ、たいへん盛り上がりを見せっていました。

ブレスト見学会

～社員はどんな風に面白いこと考えてるの？～



カヤックではみんなで次々にアイデアを出し合う「ブレスト」を毎日行っています。その「ブレスト文化」をご家族の方々にも体験していただきました。CBO久場から、「相手のアイデアにのっかること」「アイデアの数を出すこと」などの心得をお伝えして、見学会がスタート。お題は、ある社員の奥さまのご提案で「社員同士が話しかけやすい雰囲気をつくるにはどうしたらいいか?」というものです。Tシャツに「いつでも話しかけて」と書いており、「1つのイスに2人が座ることになると会話が生まれる」などなど実拍子もないアイデアが連発し笑いが生まれていました。ふつうの会社の会議に比べ、みんなが自由に発言することに驚かれていた方も大勢いらっしゃいました。

その他の名場面

～楽しい思い出がいっぱいできました～

「カヤックといえば鎌倉」ということで鎌倉駅にお店を構える「ひなやさん」から、無添加にこだわり、カレー、自家製蕎麦、サバ南蛮漬けなど、合計10種類以上にわたる季節の野菜をふんだんに使ったお料理をご用意いただきました(写真左)。社員が制作した、家族でボーズを真似して楽しむフォトブース「マネカム」、両手を挙げたり、片足で立ったりと、さまざまなボーズをして、最後に撮影された自分たちの動きを動画で見られました。たくさんのご家族に楽しんでいただけました(写真中央)。CBO久場と人事部柴田は、披露宴の挨拶のように各テーブルへ挨拶に回り、たくさんのご家族と直接お話をさせていただき、会社への貴重なご意見なども頂戴しました(写真右)。



カヤックアワード

半年に1度、人やチームや仕事を表彰しています。
上期、下期の受賞者、受賞チームをご紹介します。

上期

ベストクリエイティブ賞



ちゃんとおメーカー
自分そっくりの「ちゃんとお」
をつくってサリンオビューロラ
ンドの住人になるれるプロモー^{ション}の制作をお手伝い。世
界中で2000万人以上が遊ん
でくれました。

ベストルーキー賞



橋本 雄
2014年秋入社のエンジニア。
仕事が早く的確で評判で周
囲の信頼が厚い。どんなプロ
ジェクトでも安定して活躍で
きるイメージがあると評判で
す。

ベスト即戦力賞



渡辺一郎／永沼拓士
クリムゾン トンプソン
安定の仕事力で信頼を得た
トンプソンさん、主力メンバー
として活躍し続ける渡辺さん、
率先して業務に直撃に向かう
永沼さんがあげられました。

ベストチームワーク賞



ぼくらの甲子園！ポケット
チームワークの良さとメン
バーの成長で、たくさんの
ユーザーに楽しんでいただけ
るスマートフォンへと進化を続
けています。

ベストシナジー賞



道山 崇
売上も利益もしっかりと残
し、他事業とのシナジーを見
事に実現させた、Lobi ディレ
クター。新しいチャレンジにど
んと挑む姿は、周囲に良い
影響をを与えています。

ベストリクルーター賞



板田社
単に面接の対応をするだけ
ではなく、「事業部にとってい
つどんな人材が必要」今まで
誰も込んで考え、今後の事業
部にならぬならない面接官
の方を示してくれました。

下期

2015年10月～2016年3月

ベストクリエイティブ賞



VR部
(通勤性ミリオンアーサー)
市場のトレンドを先取りし、
最先端の技術を駆使するこ
とで、業界からの注目の高い
クリエイティブを世に送り出
しました。

ベストチームワーク賞



キン肉マンマッスルショット
制作チームの一員、そして
協業先との、お互いの得意分
野を活かし合う高濃度協力
体制と信頼関係で、ドラマ
チックな成功体験を重ねて
きました。

ベストルーキー賞



橋田博介
2015年新卒メンバー。先輩か
ら受け継いだ網を発展させ
続け、責任感をもって仕事を
全うし、メンバーの信頼を獲
得。事業部の一体感を創出
することにも貢献しています。

ベストバス賞



ベビーバスケ
若者男女だれでもが楽しめる
今までにない「ゆるスパ」
として2015年10月にローン
チ。毎月ひっきりなしに取材
の依頼があり、熱感となりま
した。

ベストリクルーター賞



川添昌貴
技術部四天王の一人。彼が
最初面接をした人の内定承
認率が 100% という驚異的
な数字をたたき出し、納得の
「ベストリクルーター賞」受賞
です。

面白法人カヤックで働く社員のご家族の皆さん

とても素敵な仲間を毎朝会社に送りだしていただき、本当にありがとうございます。第5号目的KAZOCとなった今回は、毎年恒例の行事「仕事参観日」のレポートをメインにいたしました。「仕事参観日」は来年も実施する予定ですので、参加してみたいとなった方は、ぜひお越しください。

僕の父親は単身赴任で長いこと海外にいましたので、もし婚いている妻をみていたら、僕の人生観にもいい意味で影響があったのではないかと思います。そんなことを思っていたら、鎌倉の建長寺でこどもたちとミツバチを育てハチミツを収穫するという「鎌倉こどもハチミツプロジェクト」で父と仕事をする機会をいただきました。こどもたちは毎月、地域の大人に教わりながら「こどもハチミツカンパニー」という仮想の会社をつくり、商品企画を考えます。実際に商品化し、販売する機会もあります。つまり、将来、地域を元気にする人材を育てるという、ローカルアントレプレナー講座なのです。70歳を過ぎた僕の父は、今年からその養蜂業を引き継いだのですが、かなりの肉体労働で大変な作業です。しかし仕事に対するまじめな姿勢や、チームメンバーに対する配慮など、今まで見たことのない父の側面を知ることができてよかったですと改めて思っています。

そんなわけで、これからもご家族の皆さんに喜んでいただけるような機会を提供できればなと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役 柳澤大輔（貝営政策 久場智喜）



2015年4月～2015年9月

ぼくらの甲子園！熱闘編 サービス終了！

カヤックのソーシャルゲーム事業部で約5年間運営をしてきた「ぼくらの甲子園！熱闘編」が2016年6月15日に幕を閉じました。

サービス終了告知時は様々なご意見をいただけましたが、最後にはありがたいことに「感動しました！思い出をありがとう！」と、

運営への感謝の声を多數いただきました。感動的なフィナーレ施策と、ユーザーの反応をご紹介します！



サービス終了まで、あーでもないこーでもない、どうやったら満足してもらえるのか、どうやったらユーザーの要望を叶えられるのか、連日議論を交わしていた「ぼくらの甲子園！熱闘編」の制作メンバー



とにかくユーザーを主役に！

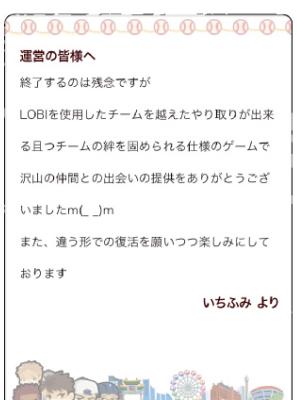
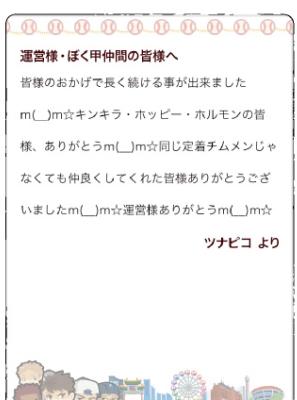
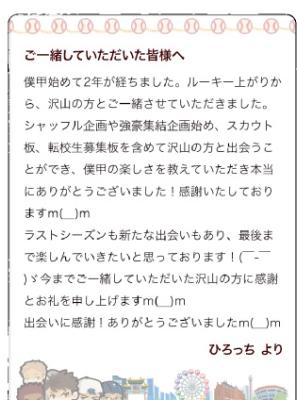
サービス終了告知をするや否や、「終了理由に納得できない！」、「存続・もしくは終了延長を求める！もっとみんなと野球がしたいです！」などの問い合わせが多数届きました。「ゲームの主人公はユーザー。ユーザーに最後まで楽しんでいただくために最善を尽くすのが運営の仕事だ。」という信念のもと、感謝のメッセージと、サービス終了前の実施大会を2試合追加。熱量の高かったユーザーにも、喜んでもらえました。

ユーザーからのご要望、全部叶えます！

最後の最後までゲームを楽しみたい！というユーザーからの、「課金が停止されてしまったので野球コインが不足している」、「好きなメンバーの学校に転校したら信頼度が足りず称号を獲得できない」、「チーム号外新聞に、去年なくなったチーム創立者を載せたい」など、すべてのご要望に、運営チームで一丸となってお応えしました。

号外新聞の発行、そしてスペシャルWebコンテンツ「贈る言葉」

個人の登録日数・最終能力値を掲載した「個人号外新聞」、チームメイト全員とチームの成績を掲載した「チーム号外新聞」、一緒にプレイしてきた仲間やライバルへメッセージを送るスペシャルWebコンテンツ「贈る言葉」を6月1日に公開しました。この中でも、「贈る言葉」では、「最後まで楽しめました。今まで一緒にプレイしてきたたくさんの方に感謝とお礼を申し上げます。」「一緒にプレイしたみんな、ありがとう！」など、1000件以上にのぼるチームメイトや対戦相手への思い出や感謝のメッセージがページを埋め尽くしました。ここでは、その一部をご紹介します！



「ぼくらの甲子園！熱闘編」に関わったすべてのみなさん、本当にありがとうございました！続編の「ぼくらの甲子園！ポケット」もよろしくお願ひいたします！

社員からのスマイル給

カヤックには、「スマイル給」という制度があります。これは、毎月、社員全員がランダムでペアを組んで、お互いの長所をコメントし、それが相手に届くというものです。仕事の喜びは、お金だけではかるものじゃない。お金に換えられない報酬もあるということを伝える試みです。今回「KAZOC」をお届けした、私たちカヤック社員一人ひとりの大切な人へ「スマイル給」をお贈りします。

to _____

from